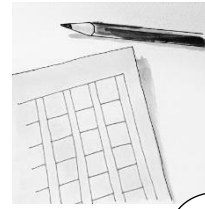


# 作文でわかるあなた自身のこと

今年の就職試験でも、多くの会社で「作文」が出題されました。  
なぜ作文を書かせるのでしょうか？



## 書かれた内容によってわかる

テーマ	例えば	出題意図
将来の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5年後、10年後の自分</li> <li>・どんな人になりたいか</li> <li>・やってみたい仕事</li> <li>・将来の夢・目標</li> </ul>	仕事に対する目的意識を見る 意欲や可能性があるか？ 将来についてのビジョンがあるか
過去の経験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生活で頑張ったこと</li> <li>・最も感動したこと</li> <li>・高校生活で得たもの</li> <li>・これまでに苦労したこと</li> </ul>	志望者の考え方や生き方を知る これまでに取り組んできたことや、目標達成のためにどんな努力をする人なのか これまでの経験を社会でどう活かそうと思っているのか

文章表現力や思考力もわかります

## 書かれた筆跡によってわかる

筆圧が弱い(自信がないように見える)  
 字の上手・下手  
 ていねいか、粗雑か(性格的なこと)  
 国語力があるか(誤字・脱字などから判断)

モジはヒトをうつすかがみ



もじはひとをうつすかがみ

文字は人を映す鏡



## 作文に強くなろう！

次のことに注意しながら書こう

### 文体を統一すること

文体＝文章の語尾のこと。  
 作文を書き始めた時は「～です」と書いているのに、  
 途中から「～だ」に変わる人が多い！  
 書いた後に、必ず読み直して確認すること。

作文を書く時は「～だ」「～である」と書いたほうが  
 強い印象や説得力を相手に与えることができる！

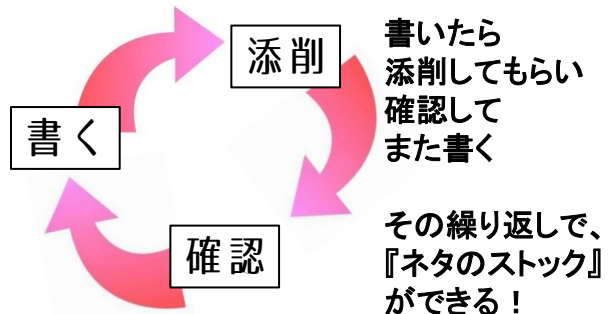
### 誤字脱字は絶対ダメ！

漢字を覚えていないからと、  
 ひらがなばかり使うのもよくない。  
 普段から国語辞典を使うように心がけよう！

### 話し言葉を使わない

「けど・でも」⇒「けれども・しかし・だが」  
 「あと」⇒「それに・それに加えて」  
 「やっぱり」⇒「やはり」  
 「ちょっとでも」⇒「少しでも・多少でも」

文章から教養がにじみ出るような作文を目指そう！



特に、日本語の本当の実力が表れるのは文章を「書く力」。  
 その「書く力」の土台になるのは「読む力」。  
 長い冬休みの間に、たくさん本を読もう！！